

「願い」が実現する街を 6つの 取り組み

この地域で生活している皆さまには、お一人お一人に願いがあるでしょう。「安全安心な街に」「子育てがしやすい街を」「自然災害に強い街に」など、このような願いに耳を傾け、実現するのが私の使命だと言えます。これからも地域の皆さまのご要望やご意見を大切に、地方行政に対する信頼の確立に努めてまいります。

1 白山市中島町の路面のしゃくみを補修



白山市中島町の広瀬大橋から中島シェッドまでの区間約15メートルの舗装にしゃくみが見られたため、石川県土木総合事務所に働き掛けて補修しました。

2 白山市鳥越地区広瀬町の斜面崩落



2021年5月20日、白山市鳥越地区広瀬町で大規模な斜面崩落が発生しました。現状では災害につながる変化はないが、山腹の総点検を検討すべきと考えています。

3 白山市河内町の江津橋交差点の除草



伸び放題となっていた江津橋交差点周辺を除草しました。損なっていた美観を回復するとともに、自動車の視界の確保にも一役買いました。

4 小松鳥越鶴来線の区画線の引き直し



白山市別宮町で区画線がかすれ、車線の区別が分かりづらくなっていました。新たに白線を引き直し、自動車が車線をはみ出さないようにしました。

5 松任寺井線の路面のしゃくみを補修



白山市源兵衛町交差点で道路の舗装にしゃくみが見られました。自動車走行に多少の支障があったことから補修し、道路の段差は解消しました。

6 堂尻川管理用道路の除草



堂尻川の管理用道路の草刈りを行いました。どこに道路があるのかわからない状態でしたが、除草したことで本来の使用目的を取り戻しました。

- 解決した地域課題**
- 上吉谷町集落の用水路を補修
 - 美川西米光町堂尻川の改修工事
 - 白山市美川中町の側溝を補修
 - 井口新町のフェンスを補修
 - 重文「旧山岸家」の雪害による補修
 - 水澄町交差点の道路改良

地元や地域の「困りごと」を解決します!

発行所 横山隆也事務所

〒920-2373 石川県白山市河合町甲21番地

TEL.076-254-2820 FAX.076-254-2821
AM10:00~PM4:00(土日祝はお休みです)

公式ホームページ <http://www.yokoyamatakaya.com/>

Facebook やってます! **【縦横無尽】** じゅうおうむしん 何事にもとらわれず、あらゆる方面で物事を思う存分にすること。また、そのさま。

お近くにお越しの際はお気軽にお立ち寄りください



縦横無尽 横山隆也 通信

石川県議会議員 横山隆也 活動報告 vol.7

よこやま たかや



身近な事柄から
長年の課題まで
解決に向けて全身全霊!



国際北陸工芸サミットin石川が令和3年8月14日から29日間、「生活の中で活かす工芸」をテーマに開催されました。サミットは文化庁と北陸三県が協力し、これまでに富山県と福井県が開かれています。石川県での開催はその締めくくりで、暮らしの中に工芸が息づく「工芸王国石川」の層の厚さを示す絶好の機会となったと言えます。

私の地元である白山市は、7つの伝統工芸があり、金沢市に次いで2番目に伝統工芸の産地が多い市です。国指定伝統的工芸品として「牛首袖」「加賀織」、県指定伝統的工芸品に「檜細工」「美川仏壇」、希少伝統的工芸品には「加賀獅子頭」「太鼓」「鶴来打刃物」があります。

中でも、牛首袖は白山市白峰周辺で800年以上昔から作り続けられている織物です。その特徴は、2匹の蚕が作った玉繭から糸を紡ぎ出し、糸づくりから製織までのほとんどの作業を手作業で一貫生産していることです。最近ではパリコレクションに採用されるなど、洋装用の素材として海外からも注目されています。

このように、風土と暮らしの中で、人から人へと連綿と受け継がれてきた先人の技術は、私たちの財産であると同時に、後世に伝えていく義務があります。新型コロナウイルス感染症で大きな打撃を受けた産地を、今こそ支えていく時ではないでしょうか。

サミットでは、石川県の伝統工芸に関心を持ったという声も聞かれており、時代に即した商品開発や販路開拓を行っていけば、白山市の伝統工芸が世界の表舞台に上がる日も遠くないでしょう。その魅力に県民の皆さんが気づき、大切にしようとする心が芽生えれば、伝統工芸の未来は明るいと考えます。



牛首袖 写真提供:石川県観光連盟 加賀織 写真提供:石川県観光連盟

ふるさと石川の伸びゆく未来に尽力

皆さまの幸せを実現するために、地域の活性化に全力で取り組んできました!

さまざまな視点から一般質問しました!

令和3年9月議会 国際北陸工芸サミットについて

質問 地域経済を支える伝統工芸事業継続に向けてサポートを

コロナ禍の影響もあり、依然として伝統工芸産業は厳しい状況にある。担い手は高齢化が進んでおり、事業が継続していくことを最優先すべきだ。若者が魅力を感じ、産業として成り立つため、支援をどのように進めていくのか。



答弁

伝統工芸産業は、地域の文化を象徴するだけでなく、経済を支える大切な産業だと言える。コロナ禍で苦境に陥った産地には、県が将来のイベントで使用する記念品を前倒して発注した。また、伝統工芸フェアの開催、商品開発・販路開拓で支援していく。

私の意見

現代まで受け継がれてきた伝統工芸を、私たちの世代で途切れさせてはなりません。あらゆる手段を講じて、事業承継を進めていくべきでしょう。そのためには、産業として成り立つ環境づくりが必要だと考えます。

令和3年9月議会 白山麓地域の災害対策について

質問 大きな災害が起こる前に小さな予兆を見つける

2021年5月20日、白山市鳥越地区広瀬町で斜面崩落が発生したが、幸いにも人身被害がなかった。しかし、雨が降るたびに水が噴き出している箇所が少なくない。山腹の総点検を検討すべくだと思いませんか。



白山麓の山腹点検せよ
横山隆也氏 良
白山麓の災害対策として、5月に白山市鳥越地区で斜面崩落が発生した。山腹の総点検を検討すべきだ。
石井農林水産部長 梅雨前の

6月と風シーズンの今月に点検を行った。災害につながるような異常は確認されなかった。

答弁

定期的に白山市などと連携して山腹斜面を重点的に点検している。また、地元住民から斜面の変化について通報があった場合は、落石防護柵を設置するなど対応している。広瀬町の斜面は災害につながる変化はなく、今後も山地災害の防止を図りたい。

私の意見

雨の日に法面から水が流れ出ているような箇所が見られます。大きな災害には、必ず小さな予兆があります。そのシグナルを見逃さず、小さなうちに対処していくことが大切なのではないでしょうか。

令和3年9月議会 石川県の教育について

質問 いしかわ師範塾が設立10周年 教員の養成に一定の成果

いつの時代も教員の資質向上が問われている。いしかわ師範塾は、教員の養成や指導力アップに重要な役割を果たしてきた。来年、設立10周年の節目を迎える。この取り組みをどう評価しているか。



答弁

こうした取り組みは国からも高い評価を受けており、受講生も年々増加している。県内の新卒の教員採用試験合格者のうち、約8割が師範塾の出身者だ。学校現場からも新採教員の能力の高さが評価されている。

いしかわ師範塾
来年に開設10年の節目を迎える。取り組みをどう評価しているか。

谷本知事 国からも高い評価を受けており、受講生も年々増加している。県内の新卒の教員採用試験合格者のうち、約8割が師範塾の出身者だ。

私の意見

教員の熱意や指導力によって、子どもたちの学力に差が出るのは確かです。全国でも先進的な石川県の取り組みは、子どもたちの可能性を確実に伸ばしています。今後の展開に期待したいと思います。

令和3年9月議会 就職活動の取り組みについて

質問 就職氷河期を招かぬようしっかりとサポートを

コロナ禍で疲弊した日本経済は、完全に立ち直ったとは言えない。3月に卒業予定の県内の大学生と高校生の就職状況について聞く。また、第二の就職氷河期世代を生まないため、こういった対策を講じていくのか。



答弁

オンラインを活用した合同企業説明会のほか、対面型の就職企業ガイダンスを大学生、高校生向けに実施した。1月末時点で大学生の内定率は88.2%、高校生は96.1%となっている。ILACとともに就職を支援したい。

私の意見

バブル崩壊後、多くの学生が就職難で苦しんだのは記憶に新しいところです。業種によって差があるものの、総じて経済は厳しいと言えます。就職したくてもできないという学生を一人も出さないよう努力していきます。

令和3年9月議会 白山麓地域の振興策について

斜面崩落で温泉がストップ 温泉以外の魅力で誘客を

県道岩間一里野線周辺の斜面崩落で、白山一里野温泉の民宿や旅館は大きな打撃を受けた。温泉以外の観光文化資源を掘り起こしに努めている。



令和3年9月議会 獣肉加工施設への支援について

豚熱ウイルス感染防止へ 野生イノシシにワクチン

令和2年度から野生イノシシの経口ワクチンを散布している。抗体保有率は向上しているものの十分とは言えず、さらなる感染防止を図っている。



令和3年9月議会 新型コロナウイルス感染症対について

市町と一体となって ワクチン接種に全力

いしかわ県民ワクチン接種センターで接種できる対象年齢を12歳以上に引き下げた。重症化を防ぐワクチン接種を積極的に推進している。

令和3年9月議会 除雪業務の採算性について

除雪体制の維持に向けて 機械と人件費を確実に

近年は雪が少ない時期が多く、安定した除雪体制の維持が難しい状況にある。民間業者が除雪機械を保持できるよう資金面でサポートしている。

令和3年9月議会 県職員の採用について

就職氷河期が対象 有為な人材を確保

就職氷河期世代を対象とした県職員の採用試験が初めて行われた。タイミングに恵まれなかった優秀な人材を登用する絶好の機会となっている。

令和3年9月議会 部活動の地域移行について

地域で部活動の実施へ 能美市で令和5年から

部活動を地域に移行するモデル事業については、令和5年度に能美市の中学校で実施する予定で、地域との協力体制の構築が急がれる。

令和3年9月議会 修学旅行誘致の促進について

コロナ禍で修学旅行が中止 特色のあるプログラムの提案を

コロナ禍の影響で、本県に修学旅行を予定していた首都圏の20校が取り止めた。石川独自の仕掛けで魅力ある修学旅行プランの提案している。



令和3年9月議会 大日川ダム取水ゲート改修について

大日川ダムの全面改修で 農業用水の安定供給を

大日川ダムの取水ゲートの全面改修は、令和4年度から国の直轄事業に採択されており、農業用水の安定供給を図りたい。

